

**「物流 2024 年問題」解決に学生が挑む！  
賞金総額 100 万円の“全国物流ビジネスコンテスト”  
38プランの中から金賞含む 4 賞を決定!!**

最高の、“机上の空論”を生み出せ。

1989 JL35周年記念事業 2024

ロジたま powered by JL

2023年度 全国物流ビジネスコンテスト

賞金総額 100万円  
Master of LOGISTICS  
★★★

賞の種類  
金賞 50万円  
銀賞 30万円  
銅賞 20万円

日本ローカルネットワークシステム協同組合連合会(本部：大阪府大阪市、会長：迫 慎二)は、学生を対象とした「全国物流ビジネスコンテスト～ロジたま」を開催。2024年2月27日オンラインで審査会を行い、金賞（賞金50万円）、銀賞（賞金30万円）、銅賞（賞金20万円）、審査員特別賞の4組を決定しました。

「全国物流ビジネスコンテスト～ロジたま」では、全国から54チームのエントリーを頂き、プラン提出数38プランのプレゼン動画が提出されました。（全国の17の大学・専門学校から総勢112名の学生が挑戦）

提出されたプレゼン動画は、ロジたま専用のYou Tubeチャンネルに公開し、「再生回数」や「いいね」の数で評価する「一般投票」と、JL連合会に所属する組合員（運送事業者）からの「組合員投票」によって、1月15日～2月15日の期間でパブリック評価を実施。38プランから選ばれた15プランで審査会を行いました

## ■全国物流ビジネスコンテスト“ロジたま”とは？

デジタル化による組織やビジネスモデルの変革である「デジタルトランスフォーメーション(DX)」の流れから、「これからの新しい物流ビジネスを生み出す」ことを目的に、ロジスティクスのたまごを生み出す「ロジたま」を企画しました。学生向けのビジネスコンテストにした理由として、物心ついた時からスマートフォンに慣れ親しむ「デジタルネイティブ世代」とも言われる若い世代の発想を活かした「物流 DX」のビジネスアイデアを期待しております。

また、ビジネスコンテストを通じて「物流業界」の“面白さ”やこれからの“可能性”を若い世代に届けたいとも考えておりますので、多くの学生の参加をお待ちしております。



学生が「物流 2024 年問題」に挑む

## ■各賞の紹介

【金賞】キャラクターで物流業界を身近に～パルが解決のキーワード～

チーム：中村 早希（安田女子大学）

子供たちの「将来の夢」の候補にあがらない職業。“物流業界”私たちは物流があるからこそ暮らしているのに、そのことに気が付かない。そこで、幼少期から、物流業界やトラックに興味を持ってほしいという狙いで作成するのが、JL 連合会公式キャラクターの“パル”を活用した絵本である。幼少期に興味を持ってもらうだけでなく、若者がキャラクターのパルを活用したクリエイティブ制作や広報に関わりながら物流業と兼業することで、新たな働き方“クリエイティブ×物流”を提案する。

プレゼン動画>> [https://youtu.be/xRCufVQFZ\\_A](https://youtu.be/xRCufVQFZ_A)

【銀賞】「モノを運ぶ時代」に終止符。これからは「モノが動く時代」に！

チーム名：こめだ（産業能率大学）

現在、物流の 2024 年問題として時間外労働の上限規制により、モノが運べなくなる恐れがある。そこで今回は、「モノを運ぶ時代」に終止符。これからは「モノが動く時代」に！をコンセプトに新たな配送手法である「地下」を提案する。具体的に地下での輸送を可能にするプロジェクト CSS(Cargo Subterranean System)を軸に物流の 2024 年問題だけでなく、環境問題、SDGs など一括して課題解決を果たす。また、地下輸送を実現すればこの先も使い続けられるため、将来に渡る物流問題も解決出来

る。

プレゼン動画>> <https://youtu.be/YIUymOc4Ts>

### 【銅賞】トラックドライバーに対する荷役と消費者の意識改革

チーム名：産能急便（産業能率大学）

現状のトラックドライバーの運行時間内に荷役、荷待ち時間という無駄な時間があるため、この時間を短縮する必要がある。現状、荷待ちのアプリが業界全体で統一されていないため、業界全体でアプリを統一し連絡の簡略化や簡単予約ができるようになる。またマナーアップ強化月間でドライバーに安全意識をもってもらい、マナー違反をなくす。

消費者視点では消費者が個人配達の際に自ら近くの受け取りスポットに取りに行くスタイルにすることによってドライバーが個人宅への配送の負担がなくなる。もう一つは物流を学ぶ機会創出のため、社会科見学や企業の学校訪問特別授業で小さいうちから物流に関する知識等を学び、物流に関する関心度を高める企画。

プレゼン動画>> <https://youtu.be/jGbem7zky9E>

### 【審査員特別賞】ドライバー不足解消のための大学生の時間割共有アプリの提案

チーム名：チーム ハタチツ☆（熊本学園大学）

コロナ禍から様々な理由により通販業界の需要が拡大する一方で、配達ドライバーの人員不足による、長時間労働や再配達の負担が大きいのも事実です。そこで、大学にて荷物を受け取ることを可能とし、学校の講義のついでに生徒が荷物を受け取り、発生した段ボールは大学で再利用することも可能なため、簡単に処理ができるようになります。また専用のアプリを作成し、学生1人1人の時間割をアプリで共有、他学生との共同購入、受け取りの際の証明や配達状況が簡単に把握することができます。また、タイムセールやクーポン配布の通知や授業の空きコマで入れるようなアルバイト情報も共有でき、波及効果を促します。

プレゼン動画>> <https://youtu.be/JVQ1jJvv7IM>

### ■表彰式の様子

表彰式は、2024年3月5日に「近畿地域本部」「関東地域本部」「中国・四国地域本部」の3箇所を繋いでオンラインで表彰式を開催。当日参加できなかった学生チームには、学生が通う大学キャンパス内で表彰式を行いました。



## ■全国物流ビジネスコンテスト「ロジたま」開催概要

- ・名称 : 2023 年度全国物流ビジネスコンテスト～ロジたま
- ・応募資格 : 大学院生・大学生・短期大学生・専門学校生
- ・表彰／賞金 : 金賞 : 賞金 50 万円(1 件)、  
銀賞 : 賞金 30 万円(1 件)、  
銅賞 : 賞金 20 万円(1 件)
- ・参加方法 : 「エントリーフォーム」より、必要事項を記入してエントリーください。  
「ビジネスプランシート」と「プレゼン動画」は、エントリー後に提出(締切 : 2024 年 1 月 10 日)
- ・参加 URL : <https://logitama.com/>

## ■日本ローカルネットワークシステム協同組合連合会について

全国の中小トラック運送会社 1,600 社が、新たな物流システムの創造を目指して自ら構築した「日本最大の物流ネットワーク組織」です。

トラックが空いているので荷物がほしい「空車情報」と、空いているトラックがないので荷物を運んでほしい「荷物情報」をマッチングする、「求車求荷システム」を使って、全国の仲間と繋がり、お客様のニーズに迅速・的確にお応えする事ができます。

また、交流会や講習会を通じて、沢山の仲間と知り合う事ができるので、情報交換を行い、問題解決の糸口をみつけることができたとのお声も頂いている協同組合連合会です。

## 「全国物流ビジネスコンテスト～ロジたま」は、JL 35 周年記念事業

日本ローカルネットワークシステム協同組合連合会は発足 35 周年を迎えます。

35 年の歴史の中、それぞれの時代にに応じたビジョンを描き、達成に向けて行動してまいりましたが、さらに次の 40 年、50 年に向けて持続可能な物流を目指すため、これからの未来を担う若い世代に、物流のことを知っていただくと同時に、その世代が考える「未来の物流」からヒントを得て、今後の物流の問題解決にも繋げていく全国物流ビジネスコンテスト「ロジたま」を実施いたします。

・ローカルネット発足 35 周年特設サイト» <https://sites.google.com/view/jl35a/top>

## ■主催団体 組織概要

本部 : 〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎 3-2-1 淀川 5 番館 8 階

代表理事 : 会長 迫 慎二

設立 : 1989 年

電話番号 : 06-6377-2900(代表)

Email : [maruyama@jln.or.jp](mailto:maruyama@jln.or.jp)

URL : <https://www.jln.or.jp>

## 【お問い合わせ先】

全国物流ビジネスコンテスト～ロジたま 運営事務局

担当者名 : 下宮 勇生

TEL : 050-5527-2521(コワーキングスペース アクセル 内)

Email : [info@logitama.com](mailto:info@logitama.com)